

発行：ひたちなか市の環境を良くする会
 会長 小川 和 昭
 編集：広報委員会
 監修：ひたちなか市環境保全課
 TEL：029-273-0111 (内3312)

環境から版

環境イベント

…募集と予告…

◇森林保全活動

第4回 1/21 (土)

第5回 2/18 (土)

第6回 3/18 (土)

作業時間：9:30～12:00

場所：美田多地区

問合せ：磯前 (029-264-1084)

◇篠刈活動

第2回 1/28 (土)

第3回 2/19 (日)

第4回 3/12 (日)

作業時間：10:00～12:30

場所：多良崎城跡

問合せ：黒沢 (029-285-7636)

◇環境四季時計「冬祭り」

環境シンポジウム2017

日時：2月11日(土・祝)

13:30～

場所：ワークプラザ勝田

問合せ：環境保全課

(029-273-0111 内線3312)

◇第2回 環境講座視察研修

日時：2月21日(火)

9:00～11:40

集合場所：笹野消防署脇

場所：那珂久慈浄化センター

申込み・問合せ：環境保全課

(029-273-0111 内線3312)

11月5、6日の2日間、市の総合体育館で開催された「みんなの消費生活展」に参加する形で環境四季時計「秋祭り」を開催しました。シンボルの虹が入った幅5メートルに及びぶ年表に写真付きで、会の発足以来8年を越す、ごみ問題、温暖化防止、自然環境の3分科会、広報委員会、学習イベント委員会の活動実績を紹介し、訪れた方達へ環境活動への参加を呼びかけました。



平成29年2月11日(土・祝)午後1時30分よりワークプラザ勝田で、環境シンポジウム2017を開催します。今年度は、市毛小学校、中根小学校、阿字ヶ浦中学校、日立グループ

また、環境保全啓発ポスターコンクール受賞者(二面掲載)の表彰式も行います。活動発表に加え、アトラクションや抽選会など、楽しい企画を用意し、皆さまのお越しをお待ちしています。

環境四季時計「冬祭り」 環境シンポジウム2017開催

1月の環境活動の発表があります。

環境四季時計「秋祭り」 環境活動を「大きな年表」で紹介

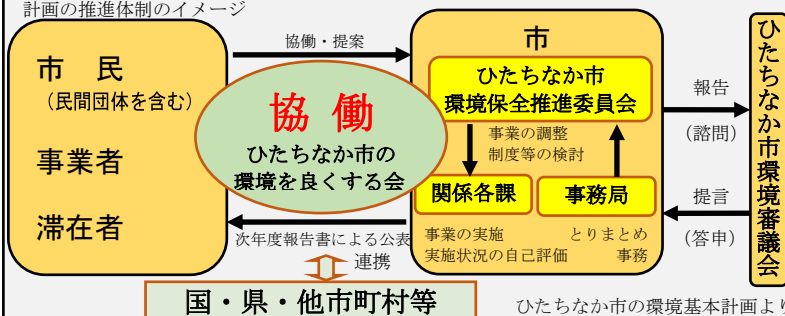
さらに万華鏡や浮沈子のシ、森林保全活動、会の活動について紹介しました。家族での参加が多く、パネルに見入る人、アンケート

足踏み式や太陽光の発電機、段ボール箱を使った堆肥作りセット、森林保全で出た竹を使った竹製品のコーナー、環境保全啓発ポスターコンクール受賞作品などの展示等を行いました。四面回転パネルでは、環境保全茨城県民会議主催の「ストップ!地球温暖化 いばらき 緑のカーテンコンテスト」団体の部で本会の応募作品が佳作に選ばれたことをうでした。



万華鏡作りに取り組む子どもたち

計画の推進体制のイメージ



本会は、「ひたちなか市環境基本計画」に基づいて設立され、市民の身近な自然や環境を大切にすることを育むこと、環境保全行動の定着を図ることを目的に活動しています。具体的には、ごみ問題、地球温暖化防止、自然環境保全のテーマ毎に取組を計画し活動を行っています。

問合せ・申込先：ひたちなか市環境保全課
 TEL273-0111 (内線3312)

ひたちなか市の環境を良くする



環境保全啓発ポスターコンクール受賞作品

ブログにて掲載中

〔最優秀作品〕

小学1年生～3年

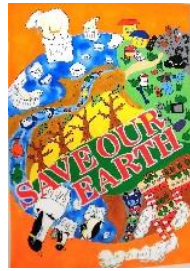


那珂湊一小 1年
長谷川 紗菜さん



佐野小 6年
山形 明日美さん

中学生



田彦中 1年
堀内 莉乃さん

〔優秀作品〕

〔自然環境保全部門〕



外野小 1年
國府田 結心さん



外野小 6年
今野 名菜さん



勝田二中 1年
松岡 美樹さん

〔まちをきれいにする部門〕



市毛小 3年
大坂 果華さん



那珂湊三小 5年
横須賀 さくらさん



大島中 1年
難波 夢奈さん

〔地球温暖化防止部門〕



市毛小 3年
鹿志村 星音さん



三反田小 5年
益子 司さん



大島中 2年
来栖 聖弥さん

平磯海岸で潮溜まりの生きものの観察会 開催

8月3日の大潮の日、9時30分から11時30分にかけて平磯海岸岩場で観察会を行いました。自然観察指導員の



した。

潮が引いた岩場の水の中は、いろいろな生きものが動いており、見つけるたびに、あちこちで歓声が上がりました。カニ、ヤドカリ、エビ、ハゼ、貝、ウニ、アメフラシ、ヒトデ、カイメン、イソギンチャクなどを観察できました。

「再生可能エネルギーってなに？」
子ども環境出前講座 開催

太陽光や風力、水力等「いつまでも利用できる、環境を汚すことのない」

再生可能エネルギーに関心を持ってもらうため、8月、私立の児童クラブ(あおいうみ18名、はなのわ6名)の高学年生を対象に出前講座を開きました。

1日目は自分でコイルを巻いてミニモーターで回る扇風機を作り、2日目は小型発電機をみんなで組立て起こした電気で自作の扇風機を回しました。太陽光パネルの電気で動くことを確かめ、ミニ扇風機が勢いよく回り出すたびに、大きな歓声が子どもたちから沸き起こりました。

わがまちの環境活動

環境活動について

日立製作所水戸事業所

日立製作所水戸事業所では、毎年、環境報告書を発行すると共に6月のさつきまつり(事業所開放日)と11月の産業交流フェアで事業所の環境活動を紹介しています。

環境活動の主な取組みは、電気設備の高効率型設備へ更新、電力の見える化推進によるムダな電力を削減する省エネ活動。資源の循環利用として徹底した分別廃棄と廃プラスチックのマテリアルリサイクル化を推進しています。

昨年からは、生態系保全活動として事業所内の平地林を舞台に力ブトムシの幼虫探し、間伐材を利用したコースター作りといった里山保全体験イベントをさつきまつり時に開催し好評を得ています。

美しい地球を次の世代へ繋げていくために水戸事業所では地球環境の改善と環境汚染予防活動を推進しています。



間伐材でコースター作り

名平洞浄化に 木炭・竹炭で新たな挑戦

冬になると、多くの野鳥が飛来する名平洞は、いつの頃からか、アオコと悪臭が目立つようになっていきます。

本会では、その原因として底の部分の汚泥にあると考え、大量の水で汚泥を流し出す等の改善策を考えていますが、大規模で高額を要するために実施が困難です。そこで、



上：名平洞への水路
右：竹炭や木炭の袋

竹炭や木炭の微細孔に繁殖する自然界の微生物により、汚泥を分解するのが廉価で現実的な方法との考えに

「チャレンジエコライフ」しています

「エコでスロー」な生活をもっと目で確かめながら進めようと、「エコライフの見える化」の普及活動(チャレンジエコライフ)を県の環境管理協会からの支援を受けて、夏から秋にかけてモニター方式で実施しました。

市民11名を対象に ①節水には雨水タンク ②節電には節電モニター ③CO₂低減には燃費計 ④生ごみ堆肥化には段ボールコンポストの4つの中からテーマを選んでいただき、



約一ヶ月間、省エネに関するデータを取っていただきました。

これに先立ち、各自「うちエコ診断」を受診し実施前の状況を知ることになりました。これによって、各家庭において現在どのくらいの「エコ度」なのかを知ることができ、今後の「エコライフ」の参考になりました。

「市街の景観・美観をよくする」をテーマに討議

10月29日13時30分より、那珂湊コミセンで、今年度2回目の環境ディスプレイセッションを開催。前回に引き続き、「市街の景観・美観をよくする」をテーマに、参加者8名がそれぞれ資料や写真を持ち寄り話し合いました。(主な内容は次の通り。)

◆気になる所・改善すべき所
①市内の至る所に錆(さび)が目立つ箇所がある。県営や市営の公共施設でも、ベランダの手すりや雨どい、入口の看板や柵などに錆びた箇所が

②空き家が目立つ。景観のみならず、防犯上またゴミの不法投棄で悪臭を放つ場合があり、問題が多い。
③歩道と自転車道の所に段差があったり、団地内で一時停止の道路標識が無かったり危険な所がある。

◆良い所
以前は、不法投棄禁止の看板があるにもかかわらず、多くのゴミが捨てられていたが、数年前にゴミを除去後にミニ鳥居(写真)が立てられ、ゴミが無くなった。
なお、改善すべき点については、



湊線から協会の柳沢保育園(鳥居)の下の方にミニ鳥居

環境よもやま 4コマ



「食品包装材について」

容器包装リサイクル法って？

(1)

意外と知っているようで知らない、容器包装リサイクル法について、2回にわたりお伝えします。

そもそも、資源回収にプラスチックごみを分別して出すようになったのは、この法律が制定されたからなのです。

平成7年度の一般廃棄物のうち、容器包装廃棄物は容積比で60%、重量比で25%をしめていました。こうした廃棄物は市町村の費用を使って、その市町村で処理されていました。

ごみを埋め立てたり、燃やしたりして処理するのではなく、分別収集して再商品化を進めればごみを減らし、資源の有効利用も進むだろうということで、平成7年度に容器包装リサイクル法が制定されました。

消費者：容器包装廃棄物を分別して捨てる。また、排出量を減らす。

事業者：容器包装廃棄物のリサイクルを進める。また、排出量を減らす。

市町村：容器包装廃棄物のリサイクルのための分別収集の計画、実施。

この法律はリサイクルのための費用を事業者と市町村が分担するのがポイントです。

容器包装プラスチックとそうでないもの、その他の問題点については次号！



広いで賞 / 飯田不二次さん



きれいで賞 / ひたちなか整体センター



みんなでがんばったで賞 / (株)日立製作所水戸事業所



協力賞 (琉球朝顔の普及) / 高野謙治さん

「緑のカーテンでエコチャレンジ」

温暖化対策・省エネの推進を図る

ために、5月から9月まで当会員を対象に第2回「緑のカーテンでエコチャレンジ」を実施。今回は分科会ごとにみんなで参加しようと呼びかけ、8月末には育成状況を応募して頂きました。その結果、44名(事業所会員3社を含む)と協業員14名と協力者30名)が参加し、「緑のカーテン」の総育成面積はおよそ1200

m²にも達しました。会では、今回応募があった中から、4つの賞(左写真)を決定し賞状を贈りました。

来年も今年同様に『広く』『きれいに』『みんなの力で』をモットーに、「緑のカーテン」の普及をさらに広げたいと考えています。ご協力をお願いします。会では、フウセンカブラやヘチマ、インゲンなど、今年収穫した「緑のカーテン」の種を集めて、来年の「緑のカーテン」の普及に

編集者だより

使いたいと考えています。ご協力頂ける方は、萩谷斗美までご連絡下さい。(連絡先090・30001・6444)

台風は昔から恐ろしいものだが、近年、発生する場所、強さ、大きさ、数、進路、被害の大きさなど、様子がおかしい。「初めての」「50年に一度」「記録的」などの言葉が年々増えており不気味である。

台風が強大になる基は、温度28℃以上の温かい海水であると聞く。地球温暖化の影響も遂にここまで来たのか。

温暖化は地球上に住む人全てが一致協力して、省エネ省資源に取り組み、食い止めねばならない。私もその中の一人であることを忘れず暮らそうと思う。(渡辺)

ひたちなか市の環境を良くする会 事業所会員の紹介

<p>私たちは、 美しい地球を次の世代へ!</p> <p>のスローガンのもとに、一丸となって地球環境の継続的改善と環境汚染予防活動を推進しています。 備日立製作所水戸事業所</p>	<p>廃棄物の中間処理施設 KATSUTA 株式会社 カツタ ひたちなか市高野1968-2 TEL (029) 270-3711代 http://www.eco-katsuta.com/</p>	<p>リコーインダストリー(株) 勝田事業所 インクジェットヘッド ドットライプリンタ ひたちなか市武田1060 www.industry.rioh.co.jp</p>	<p>Hitachi Koki 日立電動工具</p>	<p>ガーデン・エクステリアのデザイン・施工 Maki planning http://www.mams-garden.com/ プロが選ぶガーデン雑貨の専門店 Mam's garden http://www.makipla.com/</p>	<p>B.P. Bio Power 木質バイオマス発電所 (株) バイオパワー勝田 ひたちなか市高野 1974-1 TEL029-270-3341</p>
<p>Sinary 100% 脱石油 化粧品・日用品・ アロマまで、石油系化学物質を使わない、人と環境を守る製品です。シナリー櫻季(株) TEL029-271-0766</p>	<p>ひたちなか・東海 ハイトラスト株式会社 ひたちなか市新光町 103-2 TEL (029) 265-5371</p>	<p>セイメイヤ ひたちなか馬渡店</p>	<p>Global Teamwork KOMATSU コマツ 茨城工場 〒312-0008 茨城県ひたちなか市高野168-44 http://www.komatsu.co.jp/</p>	<p>廃棄物からエネルギーへ 私たちの使命は「価値」をつなげること 勝田環境株式会社 ひたちなか市高野 254-2 TEL029-270-2141 http://www.katsukan.com</p>	<p>詳しくは環境を良くする会のブログをご覧ください。</p>